



庄司 紘八  
(市民の声)

## 能代市の玄関口 の位置づけ

**質問** 今後の地域間競争に勝ち抜くために高速道のインター名に能代を残すことと、東能代駅を能代に改名しさらに東能代駅北側に無料駐車場を整備して能代市民はもとより、利用者の利便性を図ることにより能代工業団地の優位性も一段と高まると思うが。

**答弁** 能代南インターの名称は、市内外の認知度が高く、利用者にも定着していることから、変更には客観的な事由と、全市的な合意形成が不可欠であり困難な状況にある。駅名変更も同様であるが、この変更は現能代駅の名称にも影響を及ぼす大きな問題である。また、無料駐車場については、用地買収、駐車場整備、駅舎改築等の整備に多額の費用が想定され、現在の財政状況を考えれば、近い将来の実現は極めて困難な状況にあるが、東能代地域のまちづくり協議会などでの話し合いを通じて、総合計画の策定の中で、財源

に見合った身の丈にあった形で検討していく。

## ゆとりを持てる 教育環境整備

**質問** 将来を託す子供たちの教育に携わる学校や教職員がゆとりと自信を持って頑張れる環境づくりを進めてほしい。不審者対策の施設も負担を増しているように感じられるので、ガードマン採用等の検討を。

**答弁** 各学校では、校務分掌や業務量の見直しなど、さまざまな工夫を行っている。また、教育委員会も、複数校でのデータの共有化を進めたり、学校規模に応じた校務処理の工夫を促したりしており、先生が子供たちとの触れ合いを大事にしながら、ゆとりと自信を持って教育に専念できるよう環境の整備に取り組んでいきたい。来校者の確認体制が学校に大きな負担とならないよう、校務員の活用や各校の実状に沿った態勢づくりに努めていく。また、ガードマンの配置や出入口の自動開閉システムについては、その有効性も含めて検討していく。

### 庄司議員のその他の質問事項

・ 能代サティ跡地利活用問題と  
まちづくりについて

## 市長の公約と 政治姿勢



畠 貞一郎  
(大河・生々・みどりの会連合)

**質問** 英国憲法史の中で、デイズレーリにより完成し「選挙公約は必ず守るべし」という中で、市長の公約は、政治家にとって最も大切なものと考えがどうか。また、多数決という便法だけで議会に臨まれるのか、その政治姿勢を伺いたい。

**答弁** 12項目の公約を実現していくことが、能代市を安全で安心して暮らせる活力ある明るい元気なまちへ変えていくことになるものと信じ、また、責務と考える。公約に対する施策を冷静に判断し、速やかに行動し、実現に向けて歩みを進めたい。多数決は市民の多様な意思を行政に反映させる上で最も高い正当性と効率性を持った仕組みと認識しているが、決定の過程においては市民の利益を第一とし、多様性を認めつつ、普遍的な価値を見出していくため議論を尽くしていきたい。

## まちづくり について

**質問** 協働のまちづくりは、各地域の協議会がそれぞれ個性のあるまちづくりを行っているが、どの地域においても拠点、核というものに主眼をおくべきと思うがどうか。また、中心市街地のまちづくりについて、大型店出店問題も含めお伺いする。

**答弁** 拠点施設など核となるものに主眼をおいて進めるまちづくりの方法も有効な方法の一つと考える。一方で、どのような手法でまちづくりを進めるべきかは、それぞれのまちづくりのケースごとに判断する必要もある。中心市街地のまちづくりは、足元をしっかりと見詰め、今あるものに価値を見出し、可能性を信じ、最大限に活用して、現状を切り開くという覚悟が必要である。大型店の出店は、商業需給バランス、消費者や商業者の動向、中心市街地に及ぼす影響など含め、広く情報を収集・調査し、まちづくり三法の動きも踏まえながら、慎重に検討したい。